

September 17, 2020

**【前日の為替概況】ユーロドル、続落 FRB 議長は YCC やマイナス金利に言及せず**

16日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは続落。終値は1.1816ドルと前営業日NY終値(1.1847ドル)と比べて0.0031ドル程度のユーロ安水準だった。バイトマン独連銀総裁がドイツ国内で批判が目立つ欧州中央銀行(ECB)の債券買い入れについて擁護したことが関係者筋の話で分かったほか、デコス・スペイン中銀総裁も「必要に応じてなお追加緩和の余地がある」と述べたことで、ECBが一段の緩和政策を進めるのではとの思惑が高まり、NY序盤から売りが強まった。

注目の米連邦公開市場委員会(FOMC)はFFレート誘導目標を0.00-0.25%で据え置き、同時に発表した金利見通しではゼロ金利維持の期間を前回の2022年から2023年まで延長。声明文では「リスクが生じた場合には適切に金融政策のスタンスを調整する用意」と緩和スタンスを継続する姿勢を示した。一方で、2020年GDP見通しを引き上げたことも分かり、発表後はドルが一進一退の展開となった。ただ、パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長が定例記者会見で経済先行きに慎重な姿勢を示したものの、イールドカーブ・コントロール(YCC)やマイナス金利について言及しなかったため、米10年債利回りの上昇とともにドル高に傾斜。一時1.1788ドルまで下値を広げた。

ドル円は3日続落。終値は104.95円と前営業日NY終値(105.44円)と比べて49銭程度のドル安水準だった。FOMCでのハト派声明を警戒して欧州時間から円高・ドル安が進んだ。ユーロ円など一部クロス円が下落した影響も受けて一時104.81円と7月31日以来の安値を更新した。一方、FOMC結果公表やFRB議長が無難な内容だったことで全般ドル買いが強まると105円台を回復する場面も見られた。

ユーロ円は3日続落。終値は124.00円と前営業日NY終値(124.91円)と比べて91銭程度のユーロ安水準だった。ECBの追加緩和への思惑からユーロが全面安の展開となった。その後も対ドルでユーロが売られたため、ユーロ円は一時123.84円まで値を下げた。

**【本日の東京為替見通し】104円台を維持するか注目、豪ドル・ポンド・ランドの注目イベント警戒**

本日のドル円は上値が重く推移するか。昨日はユーロドルをはじめドル買いに市場が傾く場面があったときも、ドル円は上値が重い展開が続いた。米金利の上昇局面でもドル円の買いの反応は鈍く、今週は菅新政権を試すかのように円買いトレンドが続いている。本日は日銀金融政策決定会合があり、黒田日銀総裁の記者会見も行われるがサプライズを期待するのも難しいことで、この円買いトレンドがどこまで続くかを確かめたい。ただし、104円台はこの半年の値動きを見ても7月28日から31日までの間の4営業日以外は記録していないことで、本邦勢を含め水準的には買い意欲が強く、大きく値崩れしにくいかもしれない。

ドル円以外の通貨も本日は大きく動きそうだ。すでにNZから4-6月期の国内総生産(GDP)の発表があり、オセアニア通貨が神経質に動いている。本日は豪州からも8月の雇用統計の発表が予定されている。8月はメルボルンを中心にロックダウンが厳格化されたこともあり、失業率は7月の7.5%から7.7%程度まで悪化するという市場予想になっている。

また、英国(イングランド銀行=BOE)や南ア(南ア準備銀行=SARB)も金融政策委員会(MPC)後に政策金利を発表する。BOEは据え置き予想が大半を占めているが、今後のマイナス金利導入などを含め議事要旨の内容も精査する必要がありそうだ。SARBは3.25%に引き下げと3.50%で据え置きが拮抗していることで、結果次第でランドも大きく動く可能性が高い。また、英国は国内市場法案をめぐる全院委員会は昨日で第2回目が終わり、第3・4回目は来週の21・22日に予定されている。法案に関しては昨日も噂や発言でポンドが動いたことで、今後も法案絡みのニュースには目を配る必要があるようだ。

**【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間**

&lt;国内&gt;

○08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況(週次・報告機関ベース)

○未定 ☆ 日銀金融政策決定会合(終了後、決定内容発表、予想:当座預金金利▲0.10%で据え置き)

○15:30 ☆ 黒田東彦日銀総裁、定例記者会見

## &lt;海外&gt;

- 07:45 ☆ 4-6月期ニュージーランド(NZ)国内総生産(GDP、予想:前期比▲12.8%/前年比▲13.3%)
- 10:30 ◎ 8月豪雇用統計(予想:失業率7.7%/新規雇用者数▲5.00万人)
- 17:00 ◎ レーン・フィンランド中銀総裁、講演
- 17:00 ◎ デギンドス欧州中央銀行(ECB)副総裁、講演
- 18:00 ◇ 7月ユーロ圏建設支出
- 18:00 ☆ 8月ユーロ圏消費者物価指数(HICP)改定値(予想:前年比▲0.2%)
- 18:00 ☆ 8月ユーロ圏HICPコア改定値(予想:前年比0.4%)
- 20:00 ☆ 英中銀金融政策委員会(MPC)2日目、終了後政策金利発表(予想:0.10%で据え置き、資産買取プログラムは7450億ポンドで据え置き)
- 20:00 ☆ MPC議事要旨
- 21:30 ◎ 8月米住宅着工件数(予想:147.8万件、前月比▲0.9%)  
◎ 建設許可件数(予想:152.0万件、前月比2.3%)
- 21:30 ◎ 9月米フィラデルフィア連銀製造業景気指数(予想:15.0)
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数(予想:85.0万件/1300.0万人)
- 22:00 ◎ ミュラー・エストニア中銀総裁、講演
- 未定 ☆ 南アフリカ準備銀行(SARB)、政策金利発表(予想:3.25%に引き下げと3.50%で据え置きが拮抗)
- 米財務省2年、5年、7年債入札条件

18日

## &lt;国内&gt;

- 08:30 ☆ 8月全国消費者物価指数(CPI、生鮮食品を除く総合)
- 08:30 ☆ 8月全国CPI(生鮮食料品・エネルギー除く)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

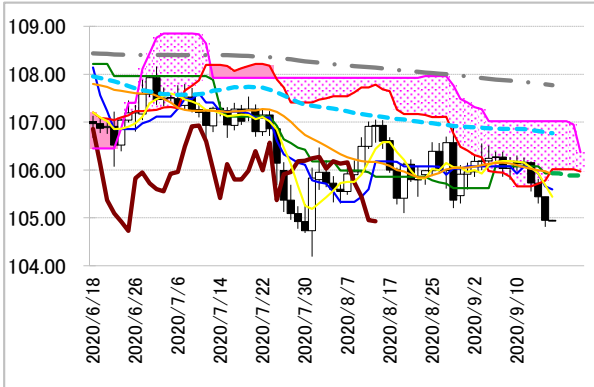
- 6日 10:12 トランプ米大統領  
「新型コロナウイルスのワクチンは3-4週間後に完成する可能性がある」
- 16日 10:18 NZ財務省(総選挙前の経済及び財政見通し)  
「6月四半期のGDPは-16%予測(予算発表時の予測は-23.5%)」  
「2020年GDP予測は-3.1%、2021年GDP予測は-0.5%」  
「2020年の純負債はGDP比で27.6%(予算発表時はGDP比で30.2%)」  
「2020年の現金残高は236.92億NZドル」  
「失業率は最大7.8%と予測(予算発表時は9.8%と予測)」
- 16日 17:37 フォンデアライエン欧州委員会委員長  
「財政支援を停止する時期ではない」
- 16日 19:44 デコス・スペイン中銀総裁  
「より強いユーロは、欧州の輸出企業にマイナスとなる」  
「将来的には、ECBによる追加緩和策の可能性」  
「ECBは、あらゆる緩和政策を探りうる」
- 16日 21:14 菅首相  
「今取り組むべき最優先課題は新型コロナ対策」  
「来年前半までに、すべての国民に配付するワクチンの確保を目指す」  
「観光・飲食・商店街などコロナでダメージを受けた方を支援していく」  
「金融緩和・財政など3本の柱のアベノミクス継承し、一層の改革を進める」  
「ポストコロナの社会を構築し、改革を進め必要な投資を行う」  
「拉致問題解決に全力を尽くす」
- 16日 21:17 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理事  
「我々は、ユーロドル相場を目標にしていない」
- 16日 22:48 アイルランド財務相  
「アイルランドはハードブレグジットによる深刻な結果にも対処する能力がある」
- 16日 22:51 英政府  
「商業テナントの立ち退きリスクを20年末まで保護する」
- 17日 00:12 米保健福祉省(HHS)高官  
「来年4月までには全ての米国民が新型コロナワクチンを接種できるだろう」
- 17日 00:18 ホルツマン・オーストリア中銀総裁  
「マイナス金利は中長期的にみて有害」  
「マイナス金利は不均衡を助長する」
- 17日 00:26 ジョンソン英首相  
「EUは北アイルランドについて誠実に交渉していない」  
「国内市場法案はEUの不誠実から守るものである」  
「合意なしなら、EUに対して恐ろしい関税をかけると警告するだろう」
- 17日 03:33 パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長  
「FRBは本日、声明で重要な変更を行った」  
「FRBは政策目標達成のために強くコミット」  
「一部の消費財価格が上昇しているにも関わらず、全体的なインフレは変わらない」  
「人々が安全と感じるまでは経済の完全回復の可能性は低い」  
「経済の見通しは極めて不安定」  
「経済はさらなる財政・金融サポートを必要としている可能性」  
「必要に応じて資産買い入れを調整する用意」  
「緩やかな物価水準、2%を大幅に超えるという意味ではない」  
「最大雇用は広範かつ包括的な目標」

17 日 03:00 米連邦公開市場委員会(FOMC) 声明  
「FRB はこの困難な時期に米国経済を支援するためにあらゆる手段を駆使し、それによって雇用の最大化と物価安定の目標を推進することを約束」  
「新型コロナウイルスの感染拡大は、米国および世界中で多大な人的および経済的苦難をもたらしている」  
「経済活動と雇用はここ数ヶ月で回復しているが、年初の水準を大きく下回ったまま」  
「需要低迷と原油価格の大幅な下落は、消費者物価の上昇を抑えている」  
「委員会は、長期的には雇用とインフレ率の最大値を 2%で達成することを目指している」  
「インフレ率がこの長期目標を下回り続けているため、委員会は、インフレ率が長期的に平均して 2%となり、長期的なインフレ期待が 2%にしっかりと固定されるように、しばらくの間はインフレ率が 2%よりも緩やかに上昇することを目指す」  
「当委員会は、これらの成果が達成されるまでは、緩和的な金融政策スタンスを維持」  
「労働市場の状況が最大雇用率に関する委員会の評価と一致する水準に達し、インフレ率が 2%に上昇し、しばらくの間は 2%を緩やかに超える軌道に乗るまでは、この目標範囲を維持することが適切であると予想」  
「円滑な市場機能を維持し、緩和的な金融状況を促進し、それによって家計や企業への信用の流れを支えるために、今後数ヶ月間、連邦準備制度理事会は、少なくとも現在のペースで財務省証券と機関投資家向け住宅ローン担保証券の保有を増加させていく」  
「金融政策の適切なスタンスを評価するにあたり、今後、経済見通しに対する情報の流入の影響を注視」  
「当委員会の目標達成を阻害するようなリスクが生じた場合には、適切に金融政策のスタンスを調整する用意」  
「委員会の評価では、公衆衛生、労働市場の状況、インフレ圧力やインフレ期待、金融・国際情勢など、幅広い情報を考慮」  
「カブラン総裁とカシュカリ総裁が反対票を投じた」

※時間は日本時間



## 〔日足一目均衡表分析〕

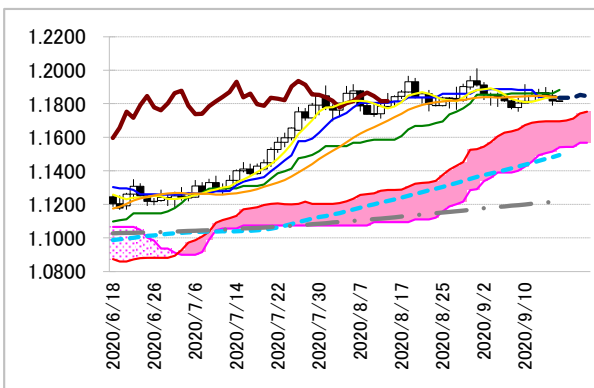


### <ドル円＝低下中の5日線付近を下げられて下落が進む>

下影陰線引け。目先のすう勢を示す5日移動平均線を下げられる格好で7月31日以来の安値 104.81 円まで下落した。

本日 105.44 円前後へ低下して推移する5日線付近では反発が抑えられそう。次の下値の節目7月31日安値 104.19 円を意識した流れが続くか。

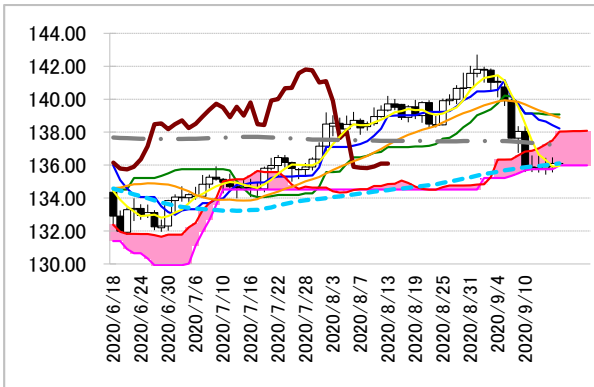
レジスタンス 2	105.93(日足一目均衡表・基準線)
レジスタンス 1	105.44(5日移動平均線)
前日終値	104.95
サポート 1	104.19(7/31 安値)



### <ユーロドル＝基準線や転換線を下回る>

小陰線引け。日足一目均衡表・基準線 1.1861 ドルや転換線 1.1835 ドルを下回って NY を引けた。基準線は本日 1.1882 ドルへ小幅に上昇し、転換線も来週 22 日には一時的に上昇する見込み。持ち直しを示唆している。しかし転換線は、じり安の流れへすぐさま回帰する公算。相場水準の回復を図り、目先の上値の節目 10 日高値 1.1917 ドルを攻略しきれなければ、売り地合いを強めるリスクがある。

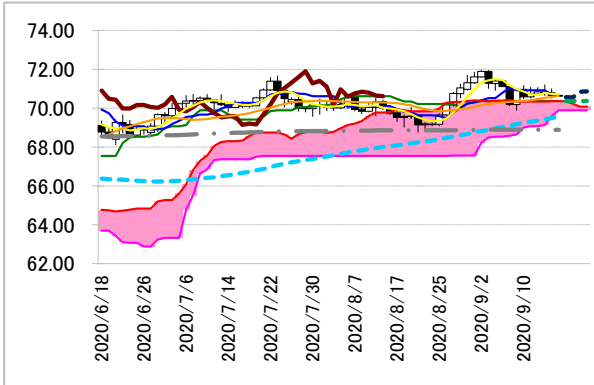
レジスタンス 1	1.1870(ピボット・レジスタンス 1)
前日終値	1.1816
サポート 1	1.1753(9/9 安値)



### <ポンド円＝雲の下限付近の底堅さ維持>

小陽線引け。一目均衡表・雲の下限 135.76 円の下抜けを試しつつも、同水準前後のレンジを維持した。底割れを回避しながら日柄の経過を経て、136 円台を回復 136 円割れへ低下した 5 日移動平均線を上回ってきた。本日 135.99 円へ小幅に水準を上げた雲の下限を維持して、136.11 円前後で上昇中の 90 日線に沿うように戻していくことができるか見定める局面。137.20 円前後で低下中の 200 日移動平均線は上値を試す場面で抵抗になりそう。

レジスタンス 1	136.52(ピボット・レジスタンス 1)
前日終値	136.09
サポート 1	135.42(9/15 安値)



### <NZドル円＝基準線のサポート効き続けそう>

上影小陰線引け。一目均衡表・雲の上限 70.36 円を上回る水準で底堅さを維持している。

来週には雲の上限が水準を切り下げ始めても、一目・基準線 70.37 円のサポートが効き続け、相場はしっかり推移しそう。上昇が予想される転換線への追随を見込む。

レジスタンス 1	71.22(9/15 高値)
前日終値	70.65
サポート 1	70.21(ピボット・サポート 2)

